

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和6年5月14日(2024.5.14)

【国際公開番号】WO2023/021852

【出願番号】特願2023-542247(P2023-542247)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/10(2006.01)

B 3 2 B 7/022(2019.01)

B 3 2 B 9/00(2006.01)

B 3 2 B 27/32(2006.01)

B 6 5 D 65/40(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/10

B 3 2 B 7/022

B 3 2 B 9/00 A

B 3 2 B 27/32 Z

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年10月25日(2023.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

紙基材と、

接着性樹脂層と、

ガスバリア層と、

シーラント層と、

30

をこの順序で備える積層構造を有し、

前記シーラント層が、ポリエチレン系樹脂及びポリプロピレン系樹脂のうち少なくとも一方と、環状オレフィン系樹脂とを含み、

前記ガスバリア層の引張弾性率を T_A とし、前記シーラント層の引張弾性率を T_B としたとき、 T_A 及び T_B が下記式(1)を満たす、ガスバリア積層体。

- 0.26 $(T_B - T_A) / T_A$ 0.30・・・式(1)

【請求項2】

紙基材と、

接着性樹脂層と、

ガスバリア層と、

シーラント層と、

40

をこの順序で備える積層構造を有し、

前記接着性樹脂層が、ポリエチレン系樹脂及びポリプロピレン系樹脂のうち少なくとも一方と、環状オレフィン系樹脂とを含み、

前記ガスバリア層の引張弾性率を T_A とし、前記接着性樹脂層の引張弾性率を T_C としたとき、 T_A 及び T_C が下記式(2)を満たす、ガスバリア積層体。

- 0.26 $(T_C - T_A) / T_A$ 0.30・・・式(2)

【請求項3】

50

前記ガスバリア層が、フィルム基材としてポリオレフィンフィルムを含み、
前記シーラント層と、前記ポリオレフィンフィルムとが直接接しており、
前記シーラント層と、前記ポリオレフィンフィルムとのラミネート強度が $1 \text{ N} / 15 \text{ m}$
m 以上である、請求項 1 又は 2 に記載のガスバリア積層体。

【請求項 4】

前記ガスバリア層が、無機酸化物を含む蒸着層を有する、請求項 3 に記載のガスバリア積層体。

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載のガスバリア積層体によって構成されている容器。

【請求項 6】

前記紙基材を貫通する孔が形成されたストロー突刺し口を備える、請求項 5 に記載の容器。

10

20

30

40

50